



# 墨東の学び

学校通信②号

令和6年4月30日発行

東京都立墨東特別支援学校

校長 田村 康二郎

## <S：予告> 個人面談をまもなく開始します！

個々に障害種や程度、重複状況が異なる特別支援教育の場では、一人一人に応じた指導プランを作って個々の伸長を図ります。そのプランを東京都では「個別指導計画」と称しています。本校では前期と後期に分けて計画と評価を行っています。ですので、年度初めのこの時期に前期計画案について面談を設けて担当教員より、保護者に御説明するようにしています。面談では、前年度の状況をふまえ、重点指導の内容や到達目標等を説明し、必要に応じて加除修正してお渡するようにしています。お子様を伸長させるには、学校と家庭が手を取り合い、協力し合う事が大事です。よろしくお願いいたします。

## <B：報告> 聖路加国際病院で「入学を祝う会」举行！

地元の小学校での入学式に出席することを楽しみにしていた小1児童が入院のため、入学式に出席できないまま、聖路加国際病院の「つばさ病院訪問学級」に転入してきました。誰にとっても思い出深い学校教育のスタートである「入学式参列同様の体験をぜひ積ませたい」との思いを病院と本校で受け止めて、両者が協力して聖路加国際病院内のトイスラーホールをご提供いただき、(名称以外は)入学式と全く同じクオリティで開催いたしました。4月22日午後、会場の正面に紅白幕を掛けて校旗を立て、新入生入場、校歌斉唱、入学生呼名、校長式辞、来賓祝辞、知事からのお祝いメッセージ紹介、担当教員紹介…と厳粛かつ清新な式を挙行了しました。式後の記念撮影もご両親、主治医、他医療スタッフ、教職員と一緒に臨むことができました。小学時代のアルバムの最初の1ページに貼られることでしょう。祝つばさ病訪小学部入学！

## <B：報告> 病院広報誌に「つばさ病院訪問生が登場」！

年度末の「墨東の学び」で御紹介した模範的入院生徒として「東京都病弱特別支援学校長会長表彰」を受賞した本校B部門つばさ病院訪問学級生徒の表彰時の笑顔溢れる記念写真が、説明とともに東京都リハビリテーション病院の広報誌「ホットリハ」令和6年度春号に掲載されました。(現在は退院されて、元気に学校に通学されています。)



## <S> 看護学校臨地実習の継続的受入れ開始！

地域で医療的な支援を受けながら暮らす人々への理解と専門的アプローチの実際を学ぶための「臨地実習」として東京墨田看護専門学校の看護師養成課程(3年制)のカリキュラムの中で、2年次2日間と3年次3日間の臨地実習を継続的にお引き受けすることになりました。

ずっとご支援くださっている医療界に人材育成面から感謝を行動で示せたらとの思いがあったからです。

併せて、希望に燃える多感な看護学校生時代に、学校現場で「学びを支える看護師」の実像を通して、そのやりがいを実感される機会となることを願ってなのです。

卒業後、病院等で経験を積まれた後、お子様の養育期や転職機などに、自宅近隣の学校等で看護師として活躍できる機会に繋がればとの願いも込めています。他校に先駆けて本校独自に一步踏み出したところですが、反響も大きく、見学依頼を数件いただきました。真摯に取り組んだ上で、この成果を広く発信して参ります。

## <SB：報告> 大会出場を讃えて入賞幕を玄関に設置！

昨年度の両部門の大会出場や入賞の活躍を紹介して讃えようと春休みから玄関上に掲出しています。来校されるお客さんからも話題にさせていただくことが頻繁です。墨東生の学校外での活躍を「見える化」したのは、高校等で「県大会出場！」等の横断幕を見かけることをヒントにしました。本校高等部への出願を検討している方々にも、文武両道・ITもスポーツも意欲溢れる児童生徒が多数学んでいる学校であることを伝えて、志望決定の一助となるようにとの思いも込めています。



## <S：お知らせ> 教職員の退職に伴う後任の任用配置

体調不良により退職が生じました。すみやかに後任の任用を進めてまいります。補充教職員の着任までの間は、学部全体で指導体制を補完して参りますので、御安心ください。

校長 田村 康二郎